

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年4月22日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから4月22日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、4月26日の（4）ですけれども、材料技術評価検討会。

これは安全研究プロジェクトを評価する検討会のうちの1つですけれども、昨年度で終了した1つのプロジェクトの事後評価を行うというものになります。

次が、4月26日の（5）第1044回審査会合です。

これは、組織変更に伴います浜岡の保安規定の認可ということになります。

次ですけれども、3ページ目です。

4月26日の（6）1Fの事故分析検討会です。

議題は2つありまして、1つ目が、東電とJAEA（日本原子力研究開発機構）が行っていますケーブルの加熱とスミア試料分析の現状の報告です。

2つ目が、1号機建屋内調査についてということで、これは先週、山中委員が行かれたものですけれども、その報告ということになります。

次が、4月26日の（8）デジタル安全保護系に関する協会規格の技術評価に関する検討チームです。

これは民間規格の技術評価というものを毎年計画的にやっているものですけれども、昨年度から継続的にやっていたデジタル安全保護系のものについて、今回、技術評価書の案をまとめるということになります。

次が、4月28日の（10）と（11）、第1045回と第1046回の審査会合です。

これはともに特重関係で非公開なものですけれども、（10）のほうは石渡委員が出席する地震関係で、（11）のほうは山中委員が出席するプラント関係ということになります。

（10）のほうは柏崎刈羽の関係で、標準応答スペクトルと地盤斜面安定性についてということなんです。

（11）のほうは、議題が女川についてで、対津波設計と航空機衝突についてということになります。

次が、4月28日の（12）核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は2つありまして、1つが京大炉の設計工事計画認可ということで、具体的には中央管理室の機能移転を行うためのものということのようです。

2つ目が、常陽の新規制基準の許可ということで、今回議論の対象となる中身は、火災対策と燃料体の構造と火山灰対策ということのようです。

最後が、4月28日の（13）火山の発生メカニズムに関する意見聴取会合の3回目。

これは元々地層処分について考慮すべき事項というのを検討するために設けられているものですが、今回、規制庁としての火山発生メカニズムについての知見を整理した案を出しまして、この会合で意見を求めるということになります。

恐らくは今回で一旦終了して、その後、それを委員会に報告するという流れになる見込みです。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、エンドウさん、お願いします。

○記者 新潟日報のエンドウです。よろしくをお願いします。

柏崎刈羽の核物質防護の不備の関係なのですが、委員長、先々週の会見で、連休前にも公開で報告するということですが、現在の検討状況というか、27日に報告するかどうかについてお願いします。

○黒川総務課長 正式にはまた議題の発表を見てからということになりますけれども、今のところ、4月27日、来週にかかる可能性が非常に高くなっています。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。